

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに The 19th International Congress of Cytology（ICC2016） 開催概要（第 4 次）

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）ならびに The 19th International Congress of Cytology（ICC2016）を下記の要領で開催させていただきます。参加登録、宿泊予約ならびに現在までに決定しているプログラムについてお知らせいたします。今後も本誌およびホームページを通じまして皆様にお知らせしてまいります。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

会期：

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）：

2016 年 5 月 27 日（金）～5 月 29 日（日）

The 19th International Congress of Cytology（ICC2016）：

2016 年 5 月 28 日（土）～6 月 1 日（水）

会場：パシフィコ横浜

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 1-1-1

TEL：045-221-2155 FAX：045-221-2136

会長：青木 大輔（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

テーマ：New Innovative Technologies Changing Cytology

共同主催：日本学術会議

ホームページ

第 57 回日本臨床細胞学会

<http://www.cytologyjapan2016.com/japanese/index.html>

ICC2016

<http://www.cytologyjapan2016.com/>

プログラム委員長：進 伸幸（慶應義塾大学医学部産婦人科学教室）

事務局：〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35

慶應義塾大学医学部産婦人科学教室

富永 英一郎（事務局長）

運営事務局：株式会社コングレ

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1

TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552

E-mail：icc2016@congre.co.jp

演題登録について

締め切りました。

参加登録について（インターネットによる登録）

参加登録開始	2015 年 10 月 15 日
早期参加登録締切	2016 年 4 月 15 日
事前参加登録締切	2016 年 5 月 19 日

1. ICC2016 および第 57 回日本臨床細胞学会春期大会の共通参加証を発行いたします。1 度の参加登録で両方の学会に参加が可能です。
2. インターネットによる事前参加登録を推奨しております。
3. 事前参加登録締切を過ぎると当日の参加登録になります。
4. 医師以外の会員向けに one day チケットを発行します。各個人に 1 回のみの発行となります。
5. 細胞診専門医の先生には ICC2016 および第 57 回日本臨床細胞学会春期大会のそれぞれの学会において細胞診専門医資格更新に必要な細胞診専門医研修指定講座を開催します。また細胞検査士の方に対しては資格更新に必要な学会参加単位を下記のごとく設定させていただきます。
 - ① 事前・通常登録では学会に参加すれば 25 単位×2=50 単位、2 日間以上参加すれば 25 単位×3=75 単位。
 - ② One day チケットではいずれの日に参加しても 25 単位。

以上につきまして詳細は学会 HP をご覧ください。

宿泊について

宿泊申込み開始	2015 年 9 月 28 日
宿泊申込み締切	2016 年 5 月 6 日

【特別講演等】

ICC 2016（第 19 回国際細胞学会議）

Plenary Lecture 1

Practice of cytopathologist at FNA clinic: A new approach for patients

David B. Kaminsky (The United States and Canadian Academy of Pathology, USA)

Plenary Lecture 2

Type 1 and Type 2 Cervical Carcinomas: Some Cervical Cancers are Significantly More Difficult to Prevent with Screening

R. Marshall Austin (Magee-Womens Hospital of University of Pittsburgh Medical Center, USA)

Keynote Lecture 1

Role of Fine Needle Biopsy Cytology in the Developed and Developing World

Andrew S. Field (University of Notre Dame Medical School / Department of Anatomical Pathology, St Vincent's Hospital, Sydney, Australia)

Keynote Lecture 2

Cytology diagnosis followed by molecular genetic test in lung cancer

Liu Dong-ge (Beijing Hospital, China)

Keynote Lecture 3

Cytology services in the mid-income trapped country: Thailand's experience

Samreung Rangdaeng (Department of Pathology, Faculty of Medicine, Chiang Mai University, Thailand)

Keynote Lecture 4

Role of the Pathologist in the Management of Breast Cancer

Fernando Schmitt (Laboratoire National De Sante, Luxembourg)

Presidential Guest Lecture 1

Biology and clinical significance of HPV (tentative)

John Doorbar (Department of Pathology, University of Cambridge, UK)

Presidential Guest Lecture 2

Systems Medicine approach in leukemias and solid tumors

Olli Kallioniemi (Science for Life Laboratory, Karolinska Institutet, Sweden / Institute for Molecular Medicine FIMM, Finland)

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

特別講演 1 新たな時代を迎えたがん免疫療法 Cancer immunotherapy comes of age
河上 裕（慶應義塾大学医学部先端医科学研究所細胞情報研究部門 教授）

特別講演 2 がん関連マイクロ RNA の探索と診断・治療への応用
稲澤譲治（東京医科歯科大学難治疾患研究所 教授）

招請講演 1 細胞内分解系オートファジーのメカニズムと役割
水島 昇（東京大学医学系研究科分子生物学分野 教授）

招請講演 2 癌幹細胞研究の現状
森 正樹（大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学 教授）

要望講演 1 肺癌 WHO 分類（2015）に基づく新たな呼吸器細胞診
佐藤之俊（北里大学医学部呼吸器外科学 主任教授）

要望講演 2 肝発がんのエピゲノム機構
金井弥栄（慶應義塾大学医学部病理学 教授）

要望講演 3 がん検診精度管理の考え方
斎藤 博（国立がん研究センター検診研究部 部長）

要望講演 4 リンパ腫：最近の進展
吉野 正（岡山大学病理学 教授）

教育講演（倫理委員会指定セミナー） 研究不正 —その実態と背景、対策について—
黒木登志夫（日本学術振興会 学術システム研究センター 相談役）

教育講演（医療安全セミナー） 臨床細胞検査等における医療安全について

後 信（九州大学病院医療安全管理部 教授・部長／日本医療機能評価機構 執行理事）

第 57 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）

The 19th International Congress of Cytology

会長（Congress President） 青木 大輔